２０２６年度　第3回　運営推進会議　議事録

1　　令和８年9月２8日（月）　　15：00～15：30

2　　地域密着型小規模特別養護老人ホーム　はぎの郷　地域交流スペース

3

利用者	○山　○子	×
利用者家族	○山　○士	○
利用者家族	○木　○子	○
加古川市職員	○中	○
地域包括支援センター	木○	○
地域代表	○田　○高（自治会長）	×
地域代表	○戸　○夫（つつじ野地区民生委員）	×
知見者	○本　○一（特養うおずみ施設長）	×
事業所	宮武　昭彦（施設長）	○
事業所	藤原　麗子（介護支援専門員）	○
事業所	貝原　直子	○

4

開会の挨拶、施設長挨拶

皆様、今日はお忙しい中お時間をいただきましてありがとうございます。

２０２６年度第3回はぎの郷の運営推進会議を始めさせていただきます。

（参加された利用者様、ご家族に運営推進会議の説明を行う）

出席者の自己紹介

2名の欠席者からは文書でご意見をいただいています。

「はぎの郷」の現状報告（介護支援専門員）

現状報告（令和８年8月31日現在）を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。

5

・今回欠席された民生委員○戸様よりのご意見・質問 1）全般 ・今回の資料は様式が異なり、活動/状況ヒヤリハット・事故の報告は見やすい。 ・ヒヤリハット・事故は事象別にまとめられてわかりやすかった。 2）ヒヤリハット報告・事故報告 ・この資料からは個別の状況を具体的に知る事ができないが個人情報保護の観点から制約はやむを得ないと思う。 ・従前の資料でも転倒に係るヒヤリが多か	

ったがその傾向は続いているようです。 自由に動き回れる施設の方針からだと思が事故にならないよう見守りください。 ・事故の「誤嚥」と「服用ミス」は大事に至らなかったと思うが気になりました。 ・事故事例については従来のように具体的な内容・対応について記述されたほうが運営推進会議の主旨/情報共有としてはよいのではないか？	
・今回欠席された知見者〇本様よりのご意見・質問	
・令和8年10月1日からハラスメント規定が義務化されるが、カスハラ対策が主になるがどのように対応されるのか？	→月に1回ハラスメント委員会を各ユニットごとに開催して話し合い必要時は施設長が動く。 契約書に基づき、利用者・職員を守りながら対策を考えている。（施設長）
・入退所状況は記載されているが、入院についての記載がない。月間の稼働率がわかるようにするのは可能か？	→可能です。（ケアマネ）
・事故・ヒヤリの報告が変わりシンプルになったが内容がわからないので重要な事故はレジュメに記載できないか？	→〇戸様からも同様のご意見をいただいています。 今までの議事録は詳しくわかりやすかったが、利用者の知られたくない情報もあり、手が出た、大声出してる〇階の〇様と書かれると、家族が反応して被害を受けていないかと心配される。 理事会でも話し合い、情報保護の観点で特定されたり余計な不安をあおらないよう、当面この形式でやっていきたい。（施設長）
・〇山さん、要望や改善点などありますか？（施設長）	→母親に認知症がありご迷惑をかけています。 扉を壊したと言って直させてもらったが、原因がはっきりしてない。訳もなく怒り出したのか職員とのやりとりがきっかけでへんなことがあって暴れだしたのか。施設の考えもあるだろうから、見守りカメラの設置ができるか問い合わせしている。 どういういきさつがあったのか知りたい。（家族） →カメラは1台設置しており要望があればお見せします。また、もう1台カメラを設置してもかまいません。Wi-Fiについては個人で契約してください。 入居して3か月は、環境が大きく変わって混乱する時期です。一番つらいのはご本人なので、興奮せず落ち着かれるよう職員と必要時医療が連携して支援

	していくことが大切です。 この後カンファレンスを予定しています。 （施設長）
・地域包括さんどうですか？（施設長）	→環境の変化はどうしても大きいので「ここは大丈夫だよ」と思える安心できる環境作りが必要です。退院後に認知症状が急に進んだ事例もあり、扉を壊したというのはすごいことが起きたとご家族もびっくりされたでしょう。（地域包括　木〇）
	→入居されて半分以上の方は混乱される。帰宅願望が出たり、なんらかのトラブルが発生する。職員も認知症の勉強をしているが、拒否的な言動が続くと心が折れる。 信頼関係はできるまでに、少なくとも3か月はかかる。私が職員に伝えているのは、利用者が主権者であり、ご家族、職員は支援者であるという事です。ご家族はお客様ではなく、一緒に支援する協力者として、ご家族の協力を得ていくことが大切だと伝えています。（施設長）
・入居して不安定な方にはどう対応しますか？（加古川市）	→アセスメント（情報を収集して分析・解釈してケア計画を立てる過程）を読み込んで、家族構成・携わった仕事・趣味等好きな話題を考えて働きかける。家族にも生活があり、やむなく入居となる場合がある。ほとんどが入りたくて入ったんじゃない。9割の方はしかたなくで、望んで入られるのは1割ほど。帰宅願望はあって当たり前と理解して接するよう職員に伝えています。（施設長）
・利用者情報の保護も守るべき大事な事ですが、ヒヤリハットや事故のカウントの仕方や、やり方が変わったことで職員に混乱はないですか？（地域包括　木〇）	→ヒヤリハット・事故の報告の仕方は変わっていません。今までは、報告書をそのまま打ち出して資料としていましたが、詳細を省いています。 （ケアマネ）
	→運営推進会議用資料のみ内容を簡略化しています。 （施設長）
・その他という項目が7月8月と3件づつあるがどんな内容ですか？（地域包括　木〇）	→トイレ介助の際にテレビのリモコンがポケットに入っていた、車いす自走時テーブルの脚にご自身でぶつかりそうになった、夕食後利用者のスプーンとフォークが見当たらず就寝時ズボンのポケットから見つかったなどです。（ケアマネ）
	→その他が多くなった場合は項目を増やしてはどうですか？（地域包括　木〇）

	→参考にさせていただきます。（施設長）
・成年後見人が1人おられるが、カンファレンスの時には来てお話しされますか？ （地域包括　木〇）	→こちらの後見人はお金の管理をされており、カンファレンス等は姪御さんが対応されています。 （ケアマネ） →身上監護は姪御さん、支払いは後見人ということですね。 意思決定支援が重視されています。ご家族が支援されているんですね。 （地域包括　木〇）
・この資料の写真掲載については同意をもらっていますか？（地域包括　木〇）	→同意はいただいています。同意をいただいている方のみ掲載しており、いただいていない方は顔がわからないようにしています。（ケアマネ）
・この写真は会議用に掲載しているのか、写真は閲覧だけの施設もあります。 （地域包括　木〇）	→こちらは会議用です。 写真の閲覧については参考にさせていただきます。 （施設長）

次回は　11月30日（月）15時からです。